

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	高齢者家族介護支援事業				事務事業コード	01807	
部 名	健康づくり部	課 名	長寿はつらつ課	係 名	高齢者支援係	部課コード	040200

1. 事業概要

総合計画コード	2223				
事業年度	年度 ~	H	年度	事業類型	◎ソフト事業 ○ハード事業
法令等の義務付け	<input type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input checked="" type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務			<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 朝霞市徘徊高齢者等位置探索サービス事業実施要綱、朝霞市在宅ねたきり老人等紙おむつ支給事業実施要綱	
めざす目的成果	在宅介護の高齢者を対象に、状態に応じた物品を支給することで、高齢者及び家族に対して支援できている。				
事業内容	寝たきり等の高齢者に紙おむつの支給を行い、徘徊高齢者に検索端末機を支給する。				
事業手法	<input type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input type="checkbox"/> 市民等との協働 <input type="checkbox"/> 補助金交付 対象となる高齢者の状態を、実態調査等により把握し、紙おむつにおいては希望する紙おむつを事業者が自宅に配達し、位置探索端末機は端末機の基本使用料を市が負担する。				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		紙おむつ支給事業利用者数 206人(2月末現在) 徘徊高齢者位置探索事業設置者数 5人(2月末現在)				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]~[ホ]		7,651	7,999	8,352	
	財源内訳	[イ]国庫支出金				
		[ロ]県支出金				
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他				
	[ホ]一般財源	7,651	7,999	8,352		
	b 人件費	3,664	4,397	4,030		
	総コスト(a 事業費 + b 人件費)	11,315	12,396	12,382		
投入労働量		常勤職員等(人工)	0.50 人	0.60 人	0.55 人	
		一般職非常勤職員等(時間)	0 時間	0 時間	0 時間	
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳		徘徊高齢者等探索サービス委託料 78千円 在宅寝たきり老人等紙おむつ支給委託料 8,274千円				
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活 動	① 紙おむつ新規申請者数	人	65 (58)	65 (—)	65 (—)	H 32 年度
	② 徘徊検索端末機新規申請者数	人	3 (1)	3 (—)	3 (—)	H 32 年度
成 果	① 紙おむつ支給人数(年度末)	人	155 (160)	160 (—)	165 (—)	H 32 年度
	② 徘徊検索端末機支給人数(年度末)	人	5 (5)	5 (—)	5 (—)	H 32 年度

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input checked="" type="radio"/> A 必要性が高い	<input type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input type="checkbox"/> その他 <説明> 低所得者の救済措置として紙おむつの支給をし、また、徘徊高齢者を在宅で介護する家族等に対し、徘徊高齢者位置探索事業を実施することは、在宅介護世帯が抱える精神的・経済的負担を軽減することができるので、必要性が高い。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入>紙おむつは、寝たきり状態もしくは重度の認知症が対象者であるため、入院・入所や死亡等の事由による廃止や一時休止があり、通年利用を予測することが難しい。徘徊高齢者等位置探索サービスについて、平成28年度は1件の新規利用者があり、継続利用者については引き続きサービスを提供できた。			
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり: 在宅高齢者及び介護をする家族に対し、支援を行い負担等の軽減を図る。 参加と協働: 在宅高齢者を介護する家族の援助を行う。 経営的な視点: 対象者の状況に対応した適切な支援を行う。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input type="radio"/> I 見直す余地がない	<input checked="" type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input type="checkbox"/> その他 <説明> 流通している商品が多様化しており、利用者からはより多くの品目の要望があるため、対応するべく整理する。			

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで)			
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
投入資源の方向性	事業費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
今後の取組方針	<input type="radio"/> A 見直して継続 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続			
	見直しの方向性	<input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大	(実施時期 : H	年度)
		<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善	(実施時期 : H	年度)
		<input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し	(実施時期 : H	年度)
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	(実施時期 : H	年度)
		<input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大	(実施時期 : H	年度)
<input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大		(実施時期 : H	年度)	
方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	<input type="checkbox"/> その他 (実施時期 : H 年度) 在宅介護の高齢者を対象に、状態に応じた物品を支給することなどにより、高齢者及び家族に対して行う支援を継続して実施する。			